

学年	教科等	題材名	日時
第4学年	音楽科	まほうの音楽	令和4年7月11日(月)6校時
研究内容1の手立て	<p>4人グループで「まほうの音楽」をつくる際、以下の3点に留意して仲間と分かり合う協働的な学習活動を展開する。</p> <p>① グループでの話し合いの際、出た意見は必ず音を介して試してみることを約束する。仲間の意見を音に出して再現した後に、名前をグループのホワイトボードに記入するようにする。そうすることで、全員が意見を出したうえで話し合いをする実感をもつことができるようにする。</p> <p>② Aパート、Bパート両方でできてから楽器の役割分担をすることで、誰がどの楽器を担当してもよいように、当事者意識をもって話し合いに参加することができるようにする。</p> <p>③ 図形譜を用いてスコア（音楽の全体像）を作成させることで、音楽を縦（音の重ね方）や横（時間の流れ）の関係で捉えながら反復の効果を実感できるのではないかと考える。話し合いの際、思いや意図を可視化した図形譜があることで、音楽全体を見通し、「音の重ね方や反復をどのようにするか」等、より活発な話し合いができると期待する。</p>		

○ 子どもの姿からの報告

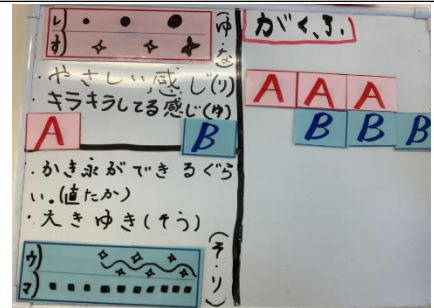
(全体で考える際の例示)

Aパートが「空飛ぶ魔法」のフレーズだったら、Bパート（進化）はどんな魔法かな？



Aパートでレイ
ンスティックを使
っているから、B
はもっとキラキラ
した音がいいね。

意見と名前が書かれたホワイトボード



※上にある図形譜はAパート、下にあるのはBパート

Bは、かき氷み
たいな雪を降らせ
たいから、ウインド
チャイムをゆっく
りやさしく鳴ら
したいな。

最初にマラカス
を入れて、後から
ウインドチャイム
が入ると、お互
いの音がよく聴
こえるね。

Aを2回繰り返
した後にBを重
ねたらどうかな？



本当にかき氷
みたいな音色だ
な。

AとBを重ねた
ものを2回繰
り返すと、魔法
が強くなった
感じになるね。



ホワイトボード上でスコアをつくる姿

○ 考察

- 導入で、Aパートのみを聴かせた際、「これで魔法がかかったかな？」と問うことで、子どもから「繰り返して長くしたらよい。」「別の楽器を足してもいいかな。」という意見が出て、反復や音の重ね方を考える本時のめあてにスムーズにつながることができた。
- 図形譜を用いてスコアを作成させることで、子どもは音楽の全体像を捉えながら積極的に話し合うことができた。AとBのプレートを操作しながら、反復の回数や音の重ね方を検討する姿が見られた。
- 意見を出した子どものネームプレートをホワイトボードの上に置かせることで、みんなで話し合いを進めることを意識することができた。しかし、ネームプレートの使用目的は、みんなで協働してつくりあげるための話し合いの際の意見の有無以外にも、Bパートの音探しをした人、記譜した人等、役割を決めて、ネームプレートを置いてよかったのではないだろうか。
- 子どもがBパートをつくるのに時間を要したため、全体的な時間配分を考える必要がある。子どもが音にふれて試行錯誤する時間も確保しつつ、子どもの感じ方や表現に対する思い等を共有できるように、展開段階の活動の在り方を検討する必要がある。

御意見・御質問はこちら(研究部アドレス)

miyafuken@cc.miyazaki-u.ac.jp

○ 本時の目標

音の重ね方や反復を聴き取り、それらの効果を感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととのかかわりについて考え、魔法を進化させるフレーズをどのようにつくるかについて思いや意図をもつことができる。

○ 本時の指導過程

学習活動及び学習内容	教師のかかわり
<p>1 前時学習をふりかえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Aパートの聴取 <ul style="list-style-type: none"> ・ どの魔法か <p>2 本時学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時のめあて <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">音の重ね方や反復の仕方を考えて、魔法を進化させるフレーズをつくろう。</div> ○ 全体像の確認 ○ Bパート(魔法を進化させるフレーズ)作成時の条件の確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ Aパートとは異なる楽器を使用する。 ・ 反復の回数やBパートを重ねるタイミングを考える。 </div> <p>3 全体でBパートの音の重ね方や反復の仕方を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 楽器の選択 ○ Bパートの決定 ○ 音の重ね方や反復の仕方の検討 <p>4 グループでテーマに合った楽器や奏法を選択し、Bパートをつくり、適宜Aパートと合わせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Bパートの作成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 役割と楽器の選択 ○ Aパートと合わせる練習 <ul style="list-style-type: none"> ・ 反復箇所や回数の確認 ・ 決定したことの記譜 <p>5 本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 音の重ね方や反復の聴取 <ul style="list-style-type: none"> ・ 表現の工夫についての感想の共有 ○ 学びに生かされた仲間の意見や表現 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時につくったAパートをいくつか紹介し、音色からどんな魔法かを想像させることで、思いや意図をつなげて考えることができるようにする。 ○ Bパートを加えることで魔法が進化することを告げ、本時学習の見通しと期待感をもつことができるようにする。 ○ スコアの例を提示し、BパートをAパートに重ねることや反復の仕方を考えることを確認することで、音楽全体の見通しをもって全員が音楽づくりに取り組むことができるようにする。 ○ 教師が以下のような具体例を示し、魔法が進化するためにはどのようにBパートをつくればよいのか、全体で話し合う場を設定することで、グループで工夫する観点に気付くことができるようにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>(例) A 空を飛んで山の上まで行く魔法 B さらに飛んで宇宙まで行く魔法</p> </div> ○ ホワイトボードに「まほうの音楽」全体を図形譜で記譜させることで、つくった音楽をいつでも再現したり思いや意図を共有したりできるようにする。 ○ 意見を出した仲間の名前をグループのホワイトボードに記入させる。そうすることで、全員が意見を出したうえで話し合いを進めていく実感をもつことができるようにする。 ○ 音の重ね方や反復の仕方に工夫があるグループの音楽をいくつか聴取させることで、多様な表現のおもしろさを感じることができるようにする。 ○ 仲間の考えや表現が生かされた場面を想起させ、全体で共有することで、仲間と協働して学ぶよさを実感できるようにする。

○ 本時の評価規準

2つのパートの音の重なりや反復を聴き取り、それらの効果を感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととのかかわりについて考え、仲間と協働しながら魔法を進化させるフレーズをどのようにつくるかについて思いや意図をもつて図形譜に表している。

(思考・判断・表現①)【記述分析】